

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	17076	学校図書館支援事業	課名	学校教育課 教育支援G
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財	会計 01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長	務	款 10:教育費
	施策の方向	03:子どもたちの育ちのための学びの展開	科	項 08:教育研究費
戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト	目	目 01:教育研究費	
事業予定期間	H 21 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等 子どもの読書活動の推進に関する法律		

② 目的・概要	対象	市内幼稚園、小学校及び中学校の園児・児童・生徒・保護者
	目的	児童生徒の読書量を増加させるとともに、読書の種類の幅を広げ、質を高める。また、児童生徒の主体的な情報活用能力を高めるとともに、児童に家庭での読書習慣を定着させる。
概要	市内小中学校14校において、学校司書等を配置し、図書環境整備と子どもの読書活動・学習活動の支援を行うとともに、学校図書館を活用した授業の推進に取り組む。さらに、学校図書館情報システムを活用し読書活動の推進を図るとともに、市内図書館・学校図書館のネットワーク化を推進する。また、家庭での読書環境充実のため、市内幼稚園(主に年長)及び小学校(主に低学年)でファミリー読書リレーを実施する。	

③ 事業の計画・実績	年度計画	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館情報システム管理 ○学校司書の配置 ○学校図書館活用アドバイザーの派遣 ○かめやましファミリー読書リレーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館情報システム管理 ○学校司書の配置 ○学校図書館活用アドバイザーの派遣 ○かめやましファミリー読書リレーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館情報システム管理 ○学校司書の配置 ○学校図書館活用アドバイザーの派遣 ○かめやましファミリー読書リレーの実施
事業費	計画額	事業費	12,000千円	12,000千円	12,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
予算額	決算額	事業費	11,496千円	11,993千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費	事業費 ①	11,188千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	11,188千円	0千円	0千円		
総人件費 ②	768千円				
一般職員	768千円				
所要人員	0.10				
臨時職員等	0千円				
総コスト(①+②)	11,956千円				
受益者負担率	0.0%				

			平成29年度	平成30年度	平成31年度		
④ 指標	①	名称 学校図書館を活用し、月3回以上授業を実施した学校数	活動	計画値	13	14	14
			実績値	14			
			単位	校	校	校	
	②	名称 児童生徒の読書数 児童生徒の1ヶ月の1人あたりの図書貸出数	成果	計画値	8	9	10
			実績値	10			
			単位	冊	冊	冊	
	③	名称 授業時間以外での読書状況 1日にわずかな時間であっても、読書をする児童生徒の割合 「全く読書しない」以外の子どもの割合	成果	計画値	小70中55	小73中58	小75中60
			実績値	小73中54			
			単位	%	%	%	

⑤ 事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校間と市立図書館とのネットワークを有効活用し、授業での図書館活用を増やしていく。 「かめやましファミリー読書リレー」の取組を更にすすめ、家族ぐるみでの読書習慣を啓発していく。
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書に関わる職員研修会を開催し、本事業に関わるスタッフのスキル向上を図るとともに、図書館担当、学校司書に対して学校図書館情報システム運用に関わるスキルアップや活用のための情報提供を行った。 公立図書館との相互貸出の連携を開始した。 「かめやましファミリー読書リレー」の充実に向けて、発達段階にあった絵本を新規に購入した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館アドバイザー派遣、学校司書の配置充実により、読書指導、図書館活用指導をすすめることができた。 「かめやましファミリー読書リレー」は4幼稚園、11小学校の年間計画に位置づけられ、年間10週程度実施できた。 学校図書館情報システムにより、貸出業務、統計処理をスムーズに行うことができた。 市立図書館から各中学校への貸出に加え、中学校間の貸出運用が開始された。 	A 計画どおり実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の平均年間貸出冊数は、平成28年度は75.0冊、平成29年度は81.1冊とのびており、読書習慣の定着、授業での図書館活用がすすんだ。 「かめやましファミリー読書リレー」に幼稚園・小学校合わせて688家族が参加し、各家庭で年間20冊ほどの本に親しんだ。 	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「かめやましファミリー読書リレー」の取組は定着してきているが、アンケートを見ると、家庭での読書習慣の定着や読書の幅をひろげるといった取組のねらいが保護者に十分伝わっていないところもある。 	<p>今後の方向性</p> <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「かめやましファミリー読書リレー」のねらいを幼稚園や小学校担当者、保護者に丁寧に伝え、家族ぐるみでの読書習慣づくりを啓発していく。 	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの家庭での読書習慣をつけることで、文字に対する興味関心を高め、言語能力育成の基盤をつくることできる。 	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 学校教育課 教育支援グループリーダー 平野 朋希
【最終評価者】	教育委員会事務局 学校教育課長 西口 昌毅